





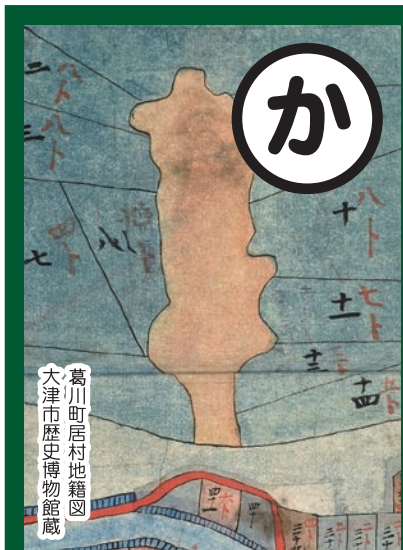
# さいがいし おおつ災害史かるた

きぬめ 切り抜いて「かるた」で遊んでね!

おおつしいき おおつ じしん たいふう としやさいがい こうずい さいがい れきし  
大津市域で起こった地震、台風、土砂災害、洪水などの災害の歴史のかるただよ!

むかし さいがい みらい さいがい そな  
昔のひとたちはどうやって災害を乗り越えてきたのかな? わたしたちも未来の災害に備えよう!

そうごうちきゅうかんきょうがくけんきゅうしほきょうさいてん きかくてん ことおおつ さいがいし てんじないよう おおつし れきし ほくぶつかん せいざく んん がっこうかい  
このかるたは、総合地球環境学研究所共催展 企画展「湖都大津の災害史」の展示内容をもとに、大津市歴史博物館が制作しました。(2025年3月公開)



か

葛川町居村地籍図  
大津市歴史博物館蔵



き

江州栗太郡土砂留御普請所帳  
上田上牧町自治会蔵



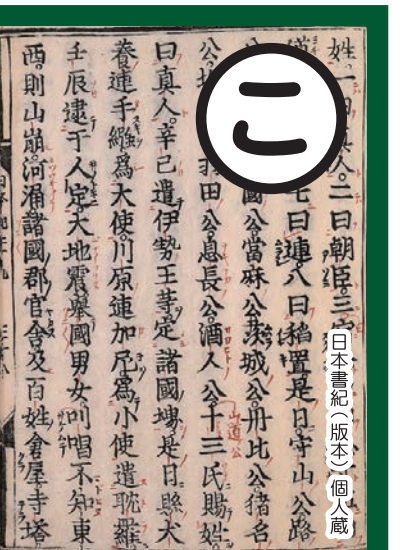
く

百間堤 撮影：京津測量株式会社



け

栗太郡橋本村免定 大津市歴史博物館蔵



こ

か  
寛文二年(一六六二)に起こった寛文地震で、葛川は山崩れの被害にあつた。明治時代に描かれた地籍図にも、その跡が描き残されている。

か

寛文の地震で起こった葛川の山崩れ

き  
「土砂留め奉行」は、瀬田川を含めた淀川水系・大和川水系の土砂流出対策にあつた役職のこと。江戸幕府から派遣されていたよ。

き

木々育て 土砂から守れ 土砂留め奉行

く  
大津市大物の四ツ子川は何度も決壊したため、石積みのでりが造られたよ。今の堤の長さには二百メートル(約百間)、六年近くかけて造られたんだって。

く

苦労して 何度も作り直した 百間堤

け  
古文書には、昔の人たちが経験した災害の記録が残されているよ。その古文書を読み解くことが、防災を考えるうえでのヒントになるはずだね。

け

経験を 古文書で読み解く 災害史

こ  
日本列島で起きた地震について最古の記録は『日本書紀』に残されているよ。古代のまじごとや神話がまごめられている歴史書なんだ。

こ

古代の南海地震 最古の記録は 『日本書紀』



# さいがいし おおつ災害史かるた

きぬめ 切り抜いて「かるた」で遊んでね！

おおつしいき おおつ じしん たいふう としやさいがい こうずい さいがい わきし  
大津市域で起こった地震、台風、土砂災害、洪水などの災害の歴史のかるただよ！

むかし 昔のひとたちはどうやって災害を乗り越えてきたのかな？ わたしたちも未来の災害に備えよう！

そうごうちきゅうかんぎょうがくけんきゅうしよきょうさいてん きかくてん ことおおつ さいがいし てんじないよう おおつし れきし はくぶつかん せいさく わん がつこうかい  
このかるたは、総合地球環境学研究所共催展 企画展「湖都大津の災害史」の展示内容をもとに、大津市歴史博物館が制作しました。(2025年3月公開)



さ

かなめいし 上下  
国立国会図書館デジタル「レクシオン」



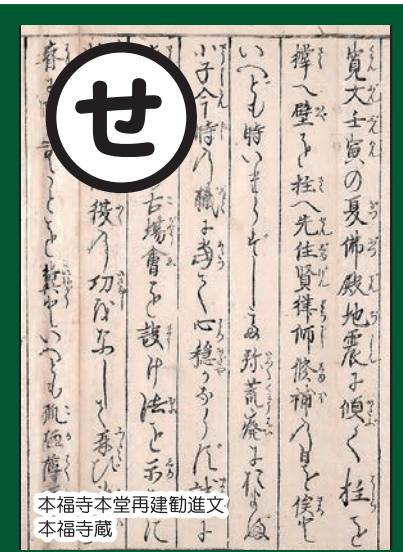
し

荒川地区のシン垣  
撮影：落合知帆



す

栗太郡里村共有文書（一部）  
里町自治会蔵



せ

本福寺本堂再建勸進文  
本福寺蔵



そ

災害時の河川水防の様子  
イラスト：島内梨佐

さいがいし 災害が  
おきたら唱える  
「世なおし世なおし」

さ

寛文地震を記録した「かなめいし」という本には、当時の災害除けの呪文として「世なおし」と繰り返し唱えられて紹介されている。

しん 集落守る  
シン垣活躍！  
獣と土砂から

し

インシシ垣は、鹿から集落を守るための「シン垣」と呼ばれる石垣は、やがて土砂災害も防ぐ役割が加わったんだ。

すい 水害で不作の年だ  
減らしてください  
年貢米

す

栗太郡里村で保管されてきた古文書。水害で米が不作の年は、領主に免税をお願いしている文書も残されているんだ。

せん 千那が願う  
地震で壊れた  
本福寺再建

せ

本福寺本堂は、寛文二年（1662）の地震で約四〇年間壊れた手戻りだったんだ。これを再建させたという当時の任職明式（千那）が呼びかけた文章だよ。

それ急げ！  
「シン」が燃料  
松明もって  
かけつける！

そ

川で洪水が起ころうな時、川のそばの松を切り倒すことで砂堤を守ったそうだよ。その松の根からとれる「シン」は松明の燃料にもなるんだ。









# さいがいし おおつ災害史かるた

きぬめ 切り抜いて「かるた」で遊んでね!

おおつ しいき おお じしん たいふう どしゃさいがい こうずい さいがい れきし  
大津市域で起こった地震、台風、土砂災害、洪水などの災害の歴史のかるただよ!

むかし 昔のひとたちはどうやって災害を乗り越えてきたのかな? わたしたちも未来の災害に備えよう!

そうごうちきゅうかんぎょうがくけんきゅうしよきょうさいてん きかくてん ことおおつ さいがいし てん じないよう おおつ しれきし はくぶつかん せいさく わん がっこうかい  
このかるたは、総合地球環境学研究所共催展 企画展「湖都大津の災害史」の展示内容をもとに、大津市歴史博物館が制作しました。(2025年3月公開)



ま

自然災害伝承碑 酒井神社(下阪本)



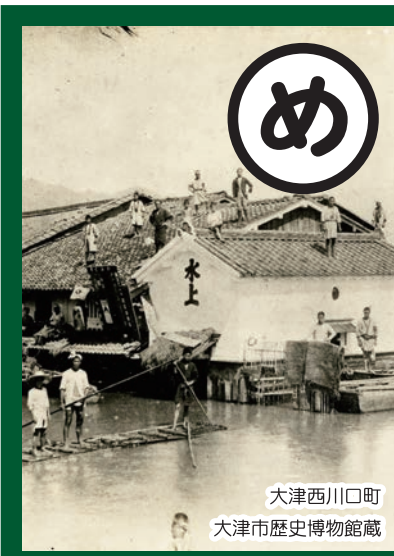
み

大般若経 小野神社蔵



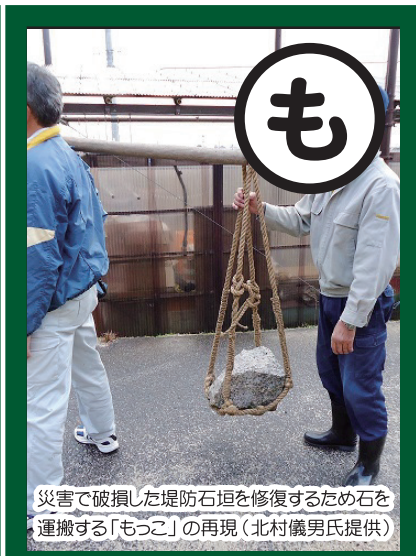
む

室戸台風によって倒壊した浮御堂 大津市歴史博物館蔵



め

大津西川口町 大津市歴史博物館蔵



も

災害で破損した堤防石垣を修復するため石を運搬する「もっこ」の再現(北村儀男氏提供)

ま  
街中で  
自然災害伝承碑  
酒井神社(下阪本)や善念寺(大萱)にまで  
浸水したのかなど、水害の被害を伝える石碑が  
あるよ。

み  
民衆が  
息災願う  
大般若経  
昔から五穀豊穡や除災のために読経されてきた大  
般若経。小野神社では今でも四年に一度、神様の  
前で読経しているんだよ。

む  
室戸台風  
浮御堂も壊れて  
石橋だけに  
昭和九年(一九三四)九月の室戸台風で、堅田の  
浮御堂は壊れてしまったんだ。昭和二年(一九  
三七)に建て直されたよ。

め  
明治二九年  
琵琶湖大洪水  
琵琶湖が溢れた  
屋根へ逃げろ  
明治二九年(一八九六)九月の大雨で、琵琶湖全  
域が洪水の被害にあつたんだ。琵琶湖の水位が元  
に戻ったのは二月も後のことだったんだよ。

も  
モッコを担ぎ  
石を運んで  
石垣直し  
昭和初期まで土木工事で使われた「モッコ」。石や  
土を乗せて棒に吊るして運んだよ。



# おおつ災害史かるた

きぬめ ちりてい 「かるた」 であそんでね!

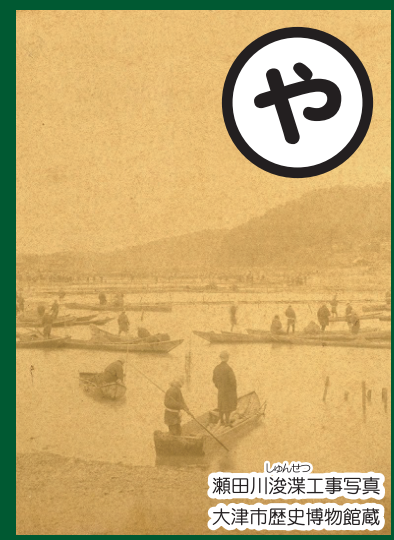
おおつ しいき お じしん たいふう としやさいがい こうずい さいがい れきし  
大津市域で起こった地震、台風、土砂災害、洪水などの災害の歴史のかるただよ!  
昔のひとたちはどうやって災害を乗り越えてきたのかな? わたしたちも未来の災害に備えよう!

このかるたは、総合地球環境学研究所共催展 企画展「湖都大津の災害史」の展示内容をもとに、大津市歴史博物館が制作しました。(2025年3月公開)

## 気になるキーワード

### ECO-DRR

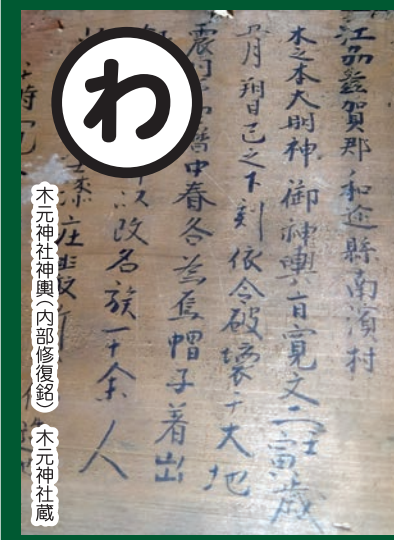
異常気象によって引き起こされる洪水や土砂災害が心配される近年、自然などの生態系を活かして災害を防いだり、減らしていくという考え方があるよ。それが「ECO-DRR」なんだ。森林や湿地などの生態系には、災害の被害を減らす働きがあるんだよ。ECO-DRRという言葉は新しいけれど、こういった生態系を活かした防災減災は古くからあるんだ。古くから地域に受け継がれてきた知識を未来に伝えていくために活用していきたいね。



瀬田川浚渫工事写真  
大津市歴史博物館蔵



鎧ダム



木元神社神輿(内部修復後) 木元神社蔵

**や**  
やらせてください  
瀬田川浚え  
流れを良くして  
水害防げ  
瀬田川は流れ出てきた土砂が溜まってたびたび氾濫したんだ。江戸時代には、困った村人が幕府にお願いして何度も川浚えしたってんだ。

**ゆ**  
有事の時に  
備えて安心  
防災グッズ  
「大津市防災ポータル」のホームページでは、非常に時に必要な備品など、防災グッズが紹介されているよ。確認してみてね。

**よ**  
鎧にそっくり  
鎧ダム  
鎧ダムでは、川から多くの土砂が流れないようにする役割があるよ。明治時代オランダ人技術者・レーケの指導で造られたんだ。

**わ**  
和邇の御神輿も  
壊れてしまった  
寛文地震  
和邇南浜の木之本大明神の神輿は、寛文地震で壊れてしまったよ。その二年後、烏帽子儀(成人儀礼)の時に集めた費用で修復されたんだって。





# さいがいし おおつ災害史かるた

きぬめ 切り抜いて「かるた」で遊んでね!

おおつしいき おお じしん たいふう としやさいがい こうずい さいがい れきし  
大津市域で起こった地震、台風、土砂災害、洪水などの災害の歴史のかるただよ!

昔のひとたちはどうやって災害を乗り越えてきたのかな? わたしたちも未来の災害に備えよう!

このかるたは、総合地球環境学研究所共催展 企画展「湖都大津の災害史」の展示内容をもとに、大津市歴史博物館が制作しました。(2025年3月公開)



ら

鯉絵(地震雷過事親父) 国立国会図書館デジタルコレクション



り

下坂本雑記 個人蔵



る

指定緊急避難場所兼指定避難所マーク



れ

大津市歴史博物館正面入口



ろ

昭和14年7月末撮影 尾花川 大津市歴史博物館蔵

ら  
落雷と地震と火事は民の敵  
恐ろしいものの代名詞といわれる地震(鯉・雷鬼)・火事・親父が描かれている鯉絵。江戸時代では世の中を風刺する鯉絵が流行したんだ。

り  
領主からの御救米比叡山麓坂本大洪水  
坂本は急な傾斜のある地域のため、よく洪水に悩んだ。領主の延暦寺は救済には消極的で困窮した村人は、御救米を何度もお願いしたそうだよ。

る  
ルートを確認避難所どこだ?  
ハザードマップを見て、避難所までのルートを確認しておけば、万が一、災害が起きたときに落ち着いて行動できるんだ。

れ  
歴史と文化を守り伝える大津市歴史博物館  
博物館は資料の展示・調査だけでなく、未来に歴史や文化を守り伝えていくために保存している施設でもあるんだよ。

ろ  
六月から日照りで干ばつ尾花川  
昭和十四年(一九三九)六月からの日照りで琵琶湖が減水し、干上がったしまったそうだよ。そのせいで尾花川では、漁魚が見えなくなったわ。